

平成27年度
事業報告書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

公益社団法人能代市シルバー人材センター

平成27年度 事業報告

1 事業の概況

平成27年は戦後70年の節目を迎え、また関東・東北豪雨や火山活動、杭ゲータ偽装など「安」の漢字に象徴されるような一年でした。

我が国の経済情勢は緩やかな回復基調が続いていると言われてはいますが、地域経済において景気回復の実感は乏しいところでもあります。当センターにおいては国の運営費補助金の削減や発注者の都合による契約解除、今冬は暖冬小雪で除排雪の依頼が大きく減少するなど、昨年度に引き続き赤字という大変厳しい結果となりました。

今後も能代市をはじめ関係機関のご指導ご支援をいただきながら、会員並びに役職員が一体となって、会員の増強や就業機会の拡大に努めるとともに、地域社会に貢献するための事業展開をしてまいります

以下、事業実施状況を報告いたします。

2 事業実施状況

(1) 普及啓発と会員の拡大について

会報やホームページなどを活用して、センターの活動状況を広く周知したほか、就業開発委員を中心にチラシを関係機関に配布するなど、普及啓発に努めました。

また、公共施設の清掃活動等ボランティア活動を実施し、センター事業をPRしました。

新会員の入会を促進するため、会員による「一人紹介運動」を呼びかけたほか、毎月2回、原則第1・第3木曜日に入会説明会を開催しました。

27年度は28名が入会しましたが、健康状態や会費未納などの理由で53名が退会し、会員数は前年度末より25名減の310名となりました。

(2) 就業機会の拡大と資質、能力向上について

就業開発委員や就業開拓専門員が各施設や家庭などを訪問しチラシを、年末には、主な発注者にカレンダーを配布しました。また、会員、役職員による「一言セールス運動」を展開したり、市に対し公共事業の発注要請をしたりして、受注の拡大に努めました。

会員の資質や技能向上、後継者育成のため、シニアワークプログラム地域事業・高齢者活躍人材育成事業の講習会のほか、草刈りや剪定の講習会を行いました。

(3) 安全・適正就業の推進について

会報や地域班長会議等で安全・適正就業の遵守を会員に周知しました。また、「就業事故ゼロ」を目標に安全推進委員会、安全就業推進員による作業現場の巡回、安全指導を行ったほか、講習会などで安全教育を行いました。

幸い重篤事故はありませんでしたが、賠償責任保険支払事故が2件、傷害事故が2件ありました。

(4) シニアワークプログラム地域事業・高齢者活躍人材育成事業について

秋田県シルバー人材センター連合会主催で、シニアワークプログラム地域事業2科目（調理補助員、パソコン実務（初級））、高齢者活躍人材育成事業1科目（スーパー等販売補助員）の講習会が実施され当センター会員も含めて合計33名の方々が修了しました。

(5) 一般労働者派遣事業の推進について

新たな就業機会の確保と多様なニーズに対応するため、一般労働者派遣事業に取り組みましたが、期間制限等の問題もあり前年度を下回りました。

(6) 財政基盤の強化について

国の運営費補助金の削減や発注者の都合により断念せざるを得ない契約もあり、受注額が伸び悩み大変厳しい状況であります。支出経費の適正で効率的な執行に努めました。

3 事業目標の達成状況

項目	目標値	実績値	差異（減△）
1. 会 員 数	380人以上	310人	△70人
2. 就 業 率 （派遣含む）	85%以上	90%	5%
3. 受 託 件 数 （派遣含む）	4,800件以上	3,927件	△873件
4. 就 業 延 人 員 （派遣含む）	37,000人日以上	30,462人日	△6,538人日
5. 契 約 金 額	127,000千円以上	104,500千円	△22,500千円
6. 派遣事業受託収益	870千円以上	847千円	△23千円